

第167回 令和8年2月2日（月）

「危険な時期について。」

歴史を振り返ると古くは農業革命、そして産業革命や情報化時代の到来、そして現在の生成AIの隆盛期などテクノロジーが長足の進歩を遂げる期間が何回かあります。

テクノロジーが進歩してから数年後に後追いで法律やシステムが整備されていきます。このテクノロジーが先行てしまっている時期が非常に危ない時期であると覚えておいてください。

欧米がマンハッタン計画で核兵器を開発したころ、冷戦を繰り広げていたソビエト連邦に負けないように核実験が繰り返されました。そして人類にどのような影響があるのかわからないまま、日本への原爆投下という最悪の事態を迎ってしまいました。

核拡散防止条約や日本の非核三原則など、二度と悲劇を繰り返さないように様々な条約や法律がつくられましたが、いずれも後追いでです。

そして現在もテクノロジーが法やシステムを先行している危険な時代です。AIでフェイク画像は簡単に制作できますし、後を絶たない盗撮事件など、機械はますます巧妙になっています。もはやAIの画像を見抜くことは至難の業ですが、反対に犯罪行為が実際にできてしまう社会になっています。

これが犯罪になるのか、まだ分別がつかないような年齢の児童でもSNSやAIに手を出すことは可能です。オーストラリアが16歳以下のSNSを禁止しましたが、法が全く追いついていないまま、1年ごとにテクノロジーは信じられない変化を遂げています。

いずれ悲劇が起きるであろうことは想像に難くありません。一つのフェイク画像が大国を戦争に導く可能性もあります。結局人類は悲劇の後追いでしか教訓を学べない生き物なのかもしれません。

みなさんが手にしているスマホなどのテクノロジーはスピードが出る車と同じくらい危険なものであるという意識をぜひ持ってほしいと思います。一生を台無しにする犯罪が簡単にできてしまう、恐ろしい機械であるという認識を持ったうえで使用しなければなりません。

軽い気持ちで送ったSNSが誹謗中傷で訴えられてしまった、軽い気持ちで撮った画像が盗撮で犯罪になってしまった、このような例はたくさんあります。

無意識にクリックする前にもう一度考えてください。これが人生を変えることにならないか。現代はテクノロジーが先走ってしまっている非常に危険な時期です。

自分の身は自分でしか守れません。